



照屋 仁士 議員

# 企業誘致、 どのように取り組むか

答 地権者と企業のマッチングセミナーを検討している

**問** 平成27年度の施政方針に「国道507号現道及びバイパス周辺の企業誘致」とある。具体的にどう取り組むか。

**副町長** 未利用地を中心に地権者と企業のマッチングセミナーを検討している。

**問** 国道507号バイパス沿いだけでなく、現道も非常に重要ではないか。津嘉山交差点より南側は今後開発の予定はない。空き店舗等も有効利用できるマッチングが求められる。また地域住民や商売をしている方々のニーズに合った企業誘致に取り組めないか。

**経済建設部長** 企業誘致のマッチングセミナーは初めての取組である。まず商工会の協力を得て、セミナーを開催したい。その状況により、一括交付金の活用やステツプアップしたセミナーを持ちたい。また、地権者の意向調査を進める予定である。

町民に伝わる広報を

**問** 鹿児島県霧島市の「広報誌の取組」という講演を聞く機会があった。「広報きりしま」は市民の7/8割に読まれているという。市民に読んでもらえるかを徹底的に追求している。告知や報告に留まらず、多彩な企画記事や市民参加記事が掲載されている。さらにクーポン券や絵葉書などの付録など多彩な仕掛けにあふれている。「広報はえばる」もより読まれる仕掛けづくりを研究し、改善できないか。

**総務部長** 本町も常に停滞せず、ニーズに対応していけるような広報づくりを取り組みたい。

どこよりも子育てしやすい町へ

**問** 4月から新たな制度(子ども・子育て支援新制度)により保育園、幼稚園、学童保育が変わる。新制度では公的施設の利用促進等がうたわれている。本町でも翔南学童は翔南小を利用し、公設民営の学童である。翔南学童のような公的施設の利用促進や公設民営を広げる考えはないか。

**民生部長** 県内でも何カ所かの学童クラブが公設民営で運営されている。公設民営について今後検討していく。今のところは既存の認可・認可外の学童の利用を進める。

## スマホのアプリで 広報誌が読めます。



スマートフォン等で広報はえばるをいつでもどこでも読込むことができるようになりました。